

Skip UP!

2013年11月8日

発行責任者 森川 学

NO. 15

編集責任者 情 宣 部

2013年度 年末手当

第4回交渉行こう!

会社は「業績給」と言うのなら黒字だから出せるだろ!!
本当にふざけるなよ。青年部は絶対に許さないぞ

中央本部は、本日10時40分より第4回年末手当交渉を行いました。会社は年末手当についての考えを示しました。

《会社》

- ①生活給の考え方については、世間相場を調査した結果年間2.0ヶ月である。
- ②国から700億円無利子貸付の支援を受けている以上、鉄道部門を黒字にしなければならない。
- ③関連事業部門も、賃料改定に伴う収入減や開発案件も無くなってきている。
- ④鉄道部門の黒字に向けて収入確保に全力を尽くすが、一方で経費削減にも努めていく。
- ⑤年末手当は、夏季手当と同様に厳しいものにならざるを得ない。

《組合》

- ①平成13年にJR各社のデータと世間一般を見て会社は年間3.0ヶ月と判断した。それを変える根拠は何か?
- ②中間決算は黒字である。夏同様に厳しいものにはならない。
- ③会社は夏季手当の交渉経緯を踏まえていない。会社の考え方は到底受け入れられない。

会社は年間2.0ヶ月と判断した理由について、「一般企業ではボーナスについては業績給という位置付けに変化してきている」と答えました。しかし、中間決算は黒字であり、しかも会社は以前、「期末手当は生活給の性格も持っている」と言っていたのを私たちははっきり覚えているぞ。それに『年間3ヶ月』と判断したのは会社ではないか。それに満たないのは会社の責任だ。会社の回答は全く理由にならない。私たちをなめるのもいいかげんにしろ。

青年部は、『**夏季手当の超低額回答を行って生活できない!だから多くの仲間が会社を去る事態も発生した。夏は我慢を強いられた。もう我慢できない!!これ以上会社を去っていく人をつくる気か!ふざけるな!!会社経営陣の態度、姿勢は絶対に許さない!!私たちが犠牲にして経営陣だけが良い思いをするのは絶対許さない!考え直せ!!**』と激しく声をぶつけました。

**会社はさらに私たちが犠牲にしようとしています!!
全青年部員で会社に怒りをバンバンぶつけよう!!**